

# 令和元年度「キッズISO14000プログラム事業」アンケート結果

## ★★先生方からの回答★★

【R2.6現在 7校】

Q1 今回実施した学年に、このプログラムの内容は適当でしたか。

	小学校5年生 回答数 3人		小学校6年生 回答数 2人		中学校1年生 回答数 1人		中学校2年生 回答数 1人		合計 回答数 7人	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 適していた	0	0.0%	0	0.0%	1	100.0%	0	0.0%	1	14.3%
2 おおむね適していた	2	66.7%	1	50.0%	0	0.0%	1	100.0%	4	57.1%
3 あまり適当でない(難しすぎる)	1	33.3%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	28.6%
4 適当でない(難しすぎる)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5 適当でない(簡単すぎる)	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

Q2 このプログラムを実施して、全体的にどう思いましたか。

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 良かった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2 おおむね良かった	3	100.0%	2	100.0%	1	100.0%	1	100.0%	7	100.0%
3 あまり良くなかった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
4 良くなかった	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

\*詳しい内容は、別紙「コメント」をご参照ください。

Q3 このプログラムを実施する際に、指導に当たって考慮、工夫した点がありましたか。

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 ある	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%
2 ない	2	66.7%	2	100.0%	1	100.0%	1	100.0%	6	85.7%

\*詳しい内容は、別紙「コメント」をご参照ください。

Q4 プログラムに取り組んだ児童・生徒について、学校や家庭での環境配慮行動が向上したとの実感や保護者からの情報等はありませんか。

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 ない	1	33.3%	2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	42.9%
2 ある	2	66.7%	0	0.0%	1	100.0%	1	100.0%	4	57.1%

\*詳しい内容は、別紙「コメント」をご参照ください。

Q5 本年より北海道知事賞の贈呈が行われましたが、このプログラムを実施するにあたり児童生徒の意欲向上につながりましたか。

	小学5年生		小学6年生		中学1年生		中学2年生		合計	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 つながっていない	1	33.3%	2	100.0%	1	100.0%	0	0.0%	4	57.1%
2 つながった	1	33.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	14.3%

\*詳しい内容は、別紙「コメント」をご参照ください。

Q6 道では各種施策により環境教育を推進していますが教育現場に対する支援として、どのようなメニューがあると良いと考えますか。  
(例: 人材情報や施設情報の拡充、学校での環境教育実践のための研修会 など)

\*詳しい内容は、別紙「コメント」をご参照ください。

※複数学年をご担当なさっている場合は、低学年の方に集計しています。

～コメント～  
各設問に対する先生方のコメントです。  
※原文のまま記載しています。

【R2.6現在 7校】

Q2 このプログラムを実施して、全体的にどう思いましたか。	
<p>〈良かった点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料がわかりやすく「未来のためにも今考えねばならないこと」という自覚が持てた。</li> <li>・エコの意識が実際に取り組むことで身についた。</li> <li>・節電、節水を意識するきっかけになった。</li> <li>・日頃、目を向けない部分に視点を持たせて活動させることができた。</li> <li>・環境について、温暖化について考えるよい機会になった。</li> </ul>	<p>担当学年</p> <p>小6</p> <p>小5</p> <p>小5、6</p> <p>小6</p> <p>小5、6</p>
<p>〈良くなかった点〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本校の学習への位置づけを見直す必要がある(反省点ですね)</li> <li>・雪が降る時期になってしまったので、作戦中の電気代、ガス代が上がってしまった。</li> <li>・作業が大変(電気と水に関してだけ調査)</li> <li>・計測を毎日行うことは家庭の負担が大きい。パンフレットの地球温暖化等記載内容が難しい。</li> </ul>	<p>小6</p> <p>小5</p> <p>小5、6</p> <p>小5、6</p>
<p>〈改善意見・提案等〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各家庭でバラバラな環境の為指示が難しい。</li> <li>・家庭によってそれぞれ事情があるので順調に取り組めない児童もいる。簡略化、もしくは学校のエネルギーを計測する、などになるとよい。</li> </ul>	<p>小5、6</p> <p>小5、6</p>
Q3 このプログラムを実施する際に、指導に当たって考慮、工夫した点がありましたか。	
<p>〈ある〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の住まい(生活)の実態への配慮</li> <li>・児童養護施設をかかえているため、また町のインフラの関係もあるため取り組める範囲で行なった。</li> <li>・導入にSDGsを取り入れた。</li> <li>・スウェーデンのグレタ・トゥーンベリさんのスピーチを聞かせたり、今の社会問題を自分自身の問題として考えさせる工夫を行った。</li> <li>・授業時数を確保していなかったので長期休暇の課題として取り組んだ。</li> <li>・持続可能な程度の計測、節制(継続して取り組むことができないと意味がない)、各家庭の事情の配慮</li> </ul>	<p>担当学年</p> <p>小6</p> <p>小5</p> <p>中2</p> <p>中1</p> <p>小6</p> <p>小5、6</p>
Q4 プログラムに取り組んだ児童・生徒について、学校や家庭での環境配慮行動が向上したとの実感や保護者からの情報等がありましたか。	
<p>〈ある〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に節電を気にかけるようになった。</li> <li>・冊子のコメント欄にも生徒が少し環境について意識するようになった、とあった。</li> <li>・生徒だけでなく、保護者の方も考えさせられることが多く、これから省エネについても考えて行きたいという意見があった。</li> <li>・電気を小まめに消すなど家庭で忘れがちで保護者が伝えてもなかなか改善しない事がプログラムを機に気をつけるようになったと聞いた。</li> </ul>	<p>担当学年</p> <p>小5</p> <p>中2</p> <p>中1</p> <p>小5、6</p>
Q5 本年より北海道知事賞の贈呈が行われましたが、このプログラムを実施するにあたり児童生徒の意欲向上につながりましたか。	
<p>〈つながった〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「節電」という言葉が生活の中で子供の口から出てくる、教室の電気を消すなど。</li> </ul> <p>〈無回答〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今はまだわかりません</li> </ul>	<p>担当学年</p> <p>小5、6</p> <p>小5、6</p>
Q6 道では各種施策により環境教育を推進していますが教育現場に対する支援として、どのようなメニューがあると良いと考えますか。(例:人材情報や施設情報の拡充、学校での環境教育実践のための研修会 など)	
<p>〈内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供達が話し合う環境問題の会議を設定。</li> <li>・人材情報や施設情報の拡充</li> <li>・専門の知識のある方に講師をしていただくと良いと考えるので講師の方の派遣など。</li> </ul>	<p>担当学年</p> <p>中1</p> <p>小6</p> <p>小5、6</p>